

## 「権利擁護の基本を学ぶシンポジウム」参加者・アンケート結果

令和2年2月6日（木）

### ★ 名簿記入者 81 ★

#### ①市町村別参加状況

中野市 42 飯山市 24 山ノ内町 9 野沢温泉村 2 木島平村 1  
栄村 1 長野市 2 計 81

#### ②職種・役職別参加状況

行政 14 ケアマネージャー 13 障がいサービス事業者 12  
権利擁護センター・Mねっと関係者 12 民生児童委員 11 相談支援専門員 8  
社協関係者 5 高齢サービス事業者 2 当事者 2 学校・教育 1  
その他 1 計 81

### ★ アンケート回収率 41/81=46.6% ★

#### 1 あなたの職種（又は障害者等との関係）を教えてください。（複数選択可）

★該当項目に○印をつけてください。

① 自治体 12 ② 社会福祉協議会 6 ③ 福祉職（高齢） 5  
④ 福祉職（障がい） 11 ⑤ 医療職 1 ⑥ 法律職 0  
⑦ その他（児童民生委員、家族 他） 6 計 41

#### 2 このシンポジウムの開催を何でお知りになりましたか。（複数選択可）

★該当項目に○印をつけてください。

① チラシ 15 ② ホームページ・新聞等 0  
③ 友人・知人 4 ④ 職場・関係機関 21  
⑤ その他（ ） 1 計 41

#### 3 基調講演「権利擁護支援の基本」について、ご意見・ご感想をご記入ください。

- ① 普段の支援が今日お聞きした支援と同じか、もう一度確認する良い機会になりました。
- ② 本人の想い権利擁護支援とは何かとても勉強になる時間でした。
- ③ 職員は仕事の立場で決められたことを支援するのではなく、本人が必要としていることを表情、様子などで見て支援をする。「方向性を決める」を仕事で活かせればと思います。
- ④ 「自分らしさ」とは言葉では簡単ですが、奥が深く、当事者の方と関わる中で答えが見つからず、悩みどころです。ありがとうございました。
- ⑤ 「自分自身が決める。選べる生活をしていますか？」の上田先生の質問では、「はっ！」としました。
- ⑥ わかり易い言葉で伝えて頂けた。自身の仕事にも大変参考になりました。アセスメントとリサーチ。今後も忘れないようにします。大変良い時間になりました。ありがとうございました。
- ⑦ 「支援は支援者がやる」という言葉が沁みました。経験値が低い支援者と一緒に仕事をしているので、考えさせられるものがありました。

#### 4 シンポジウムについて、ご意見・ご感想をご記入ください。

- ①「(Aさんの)ビデオ出演を考えなかったのか? (Aさんの)友達はいないのか? AKBの方が本音を聞き出せるのではないか?」など、さすがに上田先生はいいところを突いていた。と思った。
- ②実際の事例をあげ、とてもわかり易かったです。本人を中心とした、本人の思いに添った支援・連携すばらしいと思いました。
- ③Aさんを支援する職員の方々の気持ちなどがとても伝わってきました。
- ④人と人のつながりを知る良い機会となりました。
- ⑤ご本人に真剣に関わっておられるお話を聞かせていただくことができました。本人の思いにどれだけ添った支援ができているのか、正解と言えるものがあるのかわかりませんが…。
- ⑥ありがとうございました。わかりやすい説明でした。権利擁護を難しく考えすぎず、「当たり前なこと」として考えたいと思いました。
- ⑦支援者の立場が少しわかりにくかった。
- ⑧上田先生の感想に「どきっ」としました。「普通の生活」は支援者の自己満足にならないように、自身で気をつけたいと思います。
- ⑨それぞれの立場での関わり方、支援を具体的に聞けて良かった。

#### 5 今後参加したい研修の内容やご要望等ございましたら、お聞かせください。

- ①見立ての研修。
- ②保険師の向けの研修(見たて、気付きのポイント etc)
- ③シンポジストの方々と同じ職種で働いている人たちにもっと声をかけてほしい。

ご協力ありがとうございました。